

# 羅針盤

## 「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりの実践を!

今年度から、高等学校でも新学習指導要領が年次進行で始まりました。新しい時代に必要となる資質・能力の育成のために、「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりに取り組みましょう。

そのためのポイントを、岡山県総合教育センターが作成した「eラーニングで活用できる研修動画」にある3本の動画から確認していきましょう。

### 動画①【新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり】

この動画では、**授業づくりの基本的な考え方**、**授業づくりの「4つのStep」**、**授業5(ファイブ)**などを紹介しています。

**授業づくりの基本的な考え方**

各教科等の資質・能力を  
授業や単元(題材)を通して  
身に付けるために、  
**どのように学ぶか**

児童生徒にとって  
主体的な学び になっているか、  
対話的な学び になっているか、  
深い学び になっているか、  
という視点から授業をよりよくしていく

**授業づくりで意識したいこと**

- 児童生徒が将来必要とする力を見据えること。
- 習ったことを活用する機会を設定し、その際の言語活動を充実させること。
- 学習している内容の価値を実感できるように働きかけること。
- 「児童生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉えること。

- Check !**
- ◆「何のために学ぶのか」という学ぶ意義が実感できる授業づくりになっているか確認しましょう。
  - ◆児童生徒が目標を達成した姿を見据え、指導計画の作成や授業づくりに取り組みましょう。
  - ◆各教科等はどう改善・充実されたか確認し、授業改善に取り組みましょう。

### 【新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり】

#### 動画②「研究発表:理論編」と動画③「研究発表:実践編」

「理論編」では、改訂の背景や趣旨、そして趣旨を踏まえた**授業づくりのポイント**などを紹介しています。

「実践編」では、主体的・対話的で深い学びのある、学力向上に向けた**授業づくりの手だて**などを紹介しています。

**授業づくりのポイント②**

一単位時間の授業5(ファイブ)

- ①めあて(目標)を示す
- ②自分で考え、表現する時間を確保する
- ③目標の達成度を確認する
- ④学習内容をまとめる
- ⑤授業の振り返りをする

見通す場面と振り返る場面を設定する

教える場面と考える場面を設定する

価値のある対話の場面を設定する

**実践事例 対話的な学びの手だて**

- 表やグラフを使って自分の考えを話し合わせる
- 友達の考えと比較して、新たな考えを見出させる

- Check !**
- ◆日頃の授業づくりと照らし合わせて、押さえるべきポイントを確認しましょう。
  - ◆自身の考えを深めたり、友達の考えと比較したりさせ、価値のある対話の場面を設定しましょう。
  - ◆学習の振り返りの場面を設定し、分かったことや考えたことを自分の言葉で整理させましょう。

#### 若手教員のはじめの一歩に

- ・学習指導案作成時の手がかりとして
- ・授業づくりのヒントとして

#### 学校全体の授業改善のために

- ・校内研究や教科部会で学習指導案を検討する際に
- ・主体的・対話的で深い学びのある授業づくりのために



「eラーニングで活用できる研修動画」  
一覧はこちらから

ぜひご活用ください!